

# 『令和元年度 香川大学ビジネススクール 地域の中小企業と経済活性化』 講義概要と講師略歴

|      | 日程            | 講師              |               | 講義題  |
|------|---------------|-----------------|---------------|--|
| 第1回  | 令和元年10月1日(火)  | 公益財団法人かがわ産業支援財団 | 理事長 大津 佳裕     | 『地域活性化の政策と実践』  |
| 第2回  | 令和元年10月8日(火)  | 株式会社四国運路        | 代表取締役 佐藤 崇裕   | 『これからの四国運路と新しい価値・ビジネスの可能性』                                 |
| 第3回  | 令和元年10月15日(火) | 株式会社ゴーフールド      | 代表取締役会長 森田 桂治 | 『ブラックベンチャー企業が女性活躍推進企業として表彰されるまでの道のり』                       |
| 第4回  | 令和元年10月24日(木) | 株式会社tao.        | 代表取締役 久保 月    | 『はじまりは「おもっしょいやん!」の好奇心から。—グラフィックデザイナーの雑誌編集 IKUNAS の活動を通して—』 |
| 第5回  | 令和元年10月29日(火) | さんわ農夢株式会社       | 取締役 大橋 正幸     | 『農業への挑戦』   |
| 第6回  | 令和元年11月5日(火)  | 仁尾興産株式会社        | 取締役 高橋 寛栄     | 『オーリーブ車海老®と六次産業化への取組みについて』                                 |
| 第7回  | 令和元年11月12日(火) | 日本ケミフェルト株式会社    | 代表取締役 吉田 寿    | 『小さな会社の生き残り戦略』   |
| 第8回  | 令和元年11月19日(火) | 株式会社セリックス       | 代表取締役 泉保 壽雄   | 『未知の新分野の顧客課題を開拓する為の思考力とは? その技術の考え方と醸成』                     |
| 第9回  | 令和元年11月26日(火) | 株式会社サンテック       | 代表取締役社長 青木 大海 | 『地方のモノづくりからアジアの Monodzukuri 企業へ』                           |
| 第10回 | 令和元年12月3日(火)  | ナベプロセス株式会社      | 代表取締役社長 銅坂 信也 | 『一緒に働きたくなる人物像』   |
| 第11回 | 令和元年12月10日(火) | 日生化学株式会社        | 代表取締役社長 田中 秀和 | 『プラスチック業界を取り巻く現状と課題～The eco-Solutions Company の挑戦～』        |
| 第12回 | 令和元年12月17日(火) | 株式会社ダイコープロダクト   | 代表取締役社長 川北 康伸 | 『「想像」「創造」の二つの“ソウゾウ”力でモノづくりの未来を拓く』                          |
| 第13回 | 令和元年12月24日(火) | 一般社団法人希少糖普及協会   | 代表理事会長 近藤 浩二  | 『産学官連携事業としての希少糖～起業と商業展開～』                                  |
| 第14回 | 令和2年1月21日(火)  | サスキ畜産フーズ株式会社    | 代表取締役 増田 浩    | 『日本一のとんかつ工場へのチャレンジ ～日本一に相応しい経営の姿と考え方～』                     |
| 第15回 | 令和2年1月28日(火)  | ウインセス株式会社       | 代表取締役 橋本 勝之   | 『失敗談お伝えします。決算書に載らないリスク』                                    |

※受講申込書等詳細は最終ページに記載しています。

## ●【第1回講義(令和元年10月1日)のご案内】

講師：公益財団法人かがわ産業支援財団  
理事長 大津 佳裕 (おおつ よしひろ)



略歴：昭和54年 香川県採用  
平成22年 香川県病院局長  
平成24年 香川県商工労働部長  
平成25年 香川県健康福祉部長  
平成27年 香川県総務部長  
平成28年 かがわ産業支援財団理事長

<講義概要:『地域活性化の政策と実践』>

県内企業の総合的な支援機関として、新産業の創出や地域企業の経営基盤の強化、産業技術の高度化、科学技術の振興などに取り組む、(公財)かがわ産業支援財団の活動概要と香川県の産業の特色等について講義します。

## ●【第2回講義(令和元年10月8日)のご案内】

講師：株式会社四国遍路

代表取締役 佐藤 崇裕(さとう たかひろ)



|            |                        |
|------------|------------------------|
| 略歴：昭和 55 年 | 香川県高松市生まれ              |
| 平成 11 年    | 香川県立高松高等学校 卒業          |
| 平成 15 年    | 早稲田大学 卒業               |
| 平成 15 年    | 株式会社デサント 入社            |
| 平成 22 年    | 株式会社フューチャーリンクネットワーク 入社 |
| 平成 27 年    | 東京から香川県へ U ターン         |
| 平成 28 年    | 株式会社四国遍路 創業・代表取締役就任    |

株式会社四国遍路は四国の着地型旅行に特化した四国専門の旅行会社で、四国独自の巡礼旅文化「四国遍路」をメインテーマに、遍路に必要な情報の提供や宿の手配、立ち寄り観光や体験プログラムを提供するなどの新しい旅行サービスを、主に WEB サイトを通じて展開している。また、地域の情報や人的ネットワークを活かした地域イベント企画・運営や、行政と連携した地域観光資源発掘やまちづくりのコンサルティング・プロモーション事業にも携わるなど、地域に密着しながら事業範囲が広がっている。

講師自身は、香川県高松市出身で、大学入学を機に上京、卒業後は東京でスポーツメーカーやインターネット関連のベンチャー企業での勤務を経て、地域密着事業での創業を志し、U ターン。U ターンでの創業経験者として、香川県から「かがわ暮らし応援隊」「定住支援サポーター」を委嘱されるなど香川県への移住・定住のサポートを行うほか、かがわ産業支援財団の「かがわ創業塾」の第 1 期卒業生で、平成 30 年度のかがわ創業塾では先輩創業者として講師を務めるなど、地域の創業支援にも関わっている。学生時代にはハンドボール競技で全国中学大会・国体(少年の部)に出場経験があり、スポーツメーカー勤務の経験も活かして、アウトドアスポーツブランド「SALOMON」のアンバサダーに就任し、「SALOMON×四国遍路」をテーマとして、四国の巡礼文化と豊かな自然環境をスポーツ要素も交えた魅力として開拓・発信する連携活動をおこなうなど、活動範囲は多岐にわたる。

<講義概要:『これからの四国遍路と新しい価値・ビジネスの可能性』>

約 1,200 年の歴史をもつといわれ、独特の回遊型巡礼路として国内外から熱い注目を浴びる「四国遍路」にスポットを当て、お遍路さんをメインターゲットとした四国に特化した旅行事業をおこなう講師が、遍路を取り巻く環境の変化やこれからの時代に求められる価値、新たな視点での事業開発や情報発信、そのビジネス展開の可能性について講義します。

## ●【第3回講義(令和元年10月15日)のご案内】

講師：株式会社ゴーフールド  
代表取締役会長 森田 桂治(もりた けいじ)



略歴：昭和44年 香川県出身  
平成4年 立命館大学産業社会学部産業社会学科卒業  
同 年 株式会社日立製作所入社  
平成10年 日本シリコングラフィックス株式会社(現日本SGI株式会社)入社  
平成12年 有限会社ゴーフールド設立  
平成14年 サイエンス・テクノロジー・システムズ株式会社設立参画、取締役就任  
(平成16年まで)  
同 年 株式会社ゴーフールドに改組。代表取締役に就任  
平成15年 株式会社蒼天の取締役に就任。  
平成19年 NPO法人INS香川(現NPO法人アーキペラゴ)理事就任  
平成22年 一般社団法人 讃岐ライフスタイル研究所理事就任  
同 年 株式会社風向設立に参画し、取締役に就任  
平成23年 一般社団法人レン・ドウ理事に就任  
平成26年 一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー理事就任(平成27年まで)  
平成27年 一般社団法人かがわガイド協会理事、事務局長就任

IT活用、創業支援、ビジネスモデル構築、ネットを使った経営戦略、プロジェクトマネジメントなどの基幹事業を行い、また、子供同伴出勤など、働き方改革などに積極的に取り組む一方、関連会社で瀬戸内海の島々のクルーズ体験事業、地域文化の掘り起し事業、ボランティアグループを率いた海岸清掃活動などにも積極的に取り組む、型に縛られない自由な発想で行動する経営者。

平成6年に「インターネットの可能性」についての講義を受けたことの衝撃が契機となり、IT関連分野の道へ進む。起業後は、自律・分散・協調というネットワークに注目し、人材の多様性に重きを置いた経営マインドでさまざまな課題解決に挑んでいる。

<講義概要:『ブラックベンチャー企業が女性活躍推進企業として表彰されるまでの道のり』>

瀬戸内ツーリズムや海岸清掃活動、地域文化掘り起し事業など、多岐に渡って活動されている講師が、「創業はブラックである」と言わしめるほどであった自身の創業時、少人数スタートアップ時の艱難辛苦や、そこで得た経験、考え方、さまざまな試行錯誤、紆余曲折、それらを経て現在は、「女性活躍推進企業」として表彰されるに至った経緯、その特徴的な経営スタイルなど、創業から現在に至るまでの経験や経営マインドをまじえながら講義します。

## ●【第4回講義(令和元年10月24日)のご案内】

講師：株式会社 tao.  
代表取締役 久保 月(くぼ つき)

略歴：昭和49年 高松市出身  
平成14年 東京のデザイン会社勤務を経て、高松市へUターン  
平成14年 グラフィックデザイン事務所創設  
平成18年 雑誌「IKUNAS」創刊



地元工芸品やものづくりに光を当てた雑誌「IKUNAS」の発行、工芸品に触れられる伝統的工芸品のギャラリー開設、WEB/ECサイトによる地域製品の販売促進、伝統工芸品職人とのネットワーク構築など、多岐にわたる活動を展開し、デザインを軸とした様々な活動により地方発ブランドの確立に取り組む tao.。

講師は、そんな独創的な取り組みを続けるグラフィックデザイン会社を創設し、先進的な地域の情報発信をし続けています。

<講義概要:『はじまりは「おもっしょいやん!」の好奇心から。

ーグラフィックデザイナーの雑誌編集 IKUNAS の活動を通してー』>

tao. は従業員全員が女性というユニークな経営形態をもち、その多岐な活動内容をはじめとした取組みから、平成26年には「先進的ビジネスモデル優秀賞」も受賞しています。

地域課題や、地域の埋もれた資源を探り当てるための情報感度を何より大切にしており、光のあて方で素材の魅力を最大限発揮させることができると信じ、実際に新ビジネスを多数創出。

また、雑誌「IKUNAS」の活動を通じて、さまざまな地元産業との出会いがあり、商品開発やマッチングなどのビジネス的な波及にもつなげるなど、win-win の関係を構築しています。

自分たち発信の活動や事業の根元にあるのは、「おもっしょいやん!」のキーワード。情報感度の張り巡らせ方や磨き方、デザイナーならではの編集視点の紹介を通じて、tao. の事業活動について講義します。

## ●【第5回講義(令和元年10月29日)のご案内】

講師: さんわ農夢株式会社  
取締役 大橋 正幸(おおはし まさゆき)



略歴:平成10年 三和建設工業 代表取締役社長就任  
平成23年 さんわ農夢株式会社設立 取締役就任  
平成28年 三豊市「三豊市ものづくり大賞」受賞  
平成30年 (公財)かがわ産業支援財団「かがわ発! 先進的ビジネスモデル2017」大賞を受賞

さんわ農夢は平成23年に設立された株式会社で、もともと建設業出身のノウハウを活かして、土づくり、堆肥づくりを行い、農業ビジネスへ新規参入。糖度の高い美味しい「さつまいも」栽培から、商標を活用した販路開拓までのビジネスモデル構築は、六次化総合化事業計画の承認を受けている。

また、香川大学農学部と連携し、土壌改良材を開発、水はけ良い土壌を選好する「さつまいも」栽培において、田んぼでの栽培を可能とする技術改良にも取り組んでいる。

その一連の成果として、現在は主力商品、「弘法の恵」及び「夢の芋」は、焼き芋状にしたときの糖度が30度以上にもなる、「たんぼのスイーツ」となっており、平成28年度の「三豊市ものづくり大賞」の大賞に、平成30年度には、(公財)かがわ産業支援財団の「かがわ発! 先進的ビジネスモデル2017」の大賞に選ばれている。

### <講義概要:『農業への挑戦』>

農業についての知識や経験に乏しかったという建設業出身の講師が、休耕田の活用や、新たな農業ビジネスの創造、土壌改良への挑戦、差別化できる商品開発についての紆余曲折や試行錯誤、商品化手法及びブランディング化への取組み、商標活用による販路開拓、現在の営業活動状況、異業種からの新規参入ビジネスの確立の経緯や、六次産業化の展望などについて広く講義します。

## ●【第6回講義(令和元年 11月5日)のご案内】

講師：仁尾興産株式会社  
取締役 高橋 寛栄(たかはし ひろえ)



略歴：平成元年 仁尾興産株式会社入社  
平成 25年 同 取締役 化成品事業部部长  
平成 31年 同 取締役 経営企画本部长

今話題の三豊市仁尾の父母ヶ浜の近く、そんな絶景近くに仁尾興産株式会社はある会社です。創立大正8年という歴史を有する製塩業に端を発し、今では、化成品事業を中心に事業をおこなっている、塩化マグネシウム(にがり)の国内生産日本一、シェア約65%を占めている会社であり、その品質は内外で高い評価を受けている。塩化マグネシウム(にがり)の他にも今話題の「オリーブ車海老」を新鮮な生きたままの状態産地直送するギフト販売にも注力しており、講師は、そんな六次化事業の担い手として、中心的な役割を担われている。

また、豆腐マイスターの資格も保有し、さまざまな場所で精力的にお豆腐の良さを伝道するための活動もされており、一方で、地元のフィルムコミッション系の映画出演なども果たすなど、その活動範囲は多方面にわたりマルチである。

<講義概要:『オリーブ車海老®と六次産業化への取組みについて』>

地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出について、子会社である仁尾産商株式会社を立ち上げ、車海老のブランド化事業の取組みについて、中心的役割を担っている講師による、ブランド化戦略、高付加価値化、販路開拓に至るまでの試行錯誤、発端経緯、地域とのかかわりや、日本一の国産にがりメーカーとしてのノウハウから六次産業化への取組みについてまでと、今後の業界展望について等講義します。

## ●【第7回講義(令和元年11月12日)のご案内】

講師：日本ケミフェルト株式会社  
代表取締役 吉田 寿(よしだ ひさし)

略歴：大学卒業後、食品関連の商社、流通、メーカーに勤務

平成15年 日本ケミフェルト株式会社 入社

平成17年 代表取締役に就任

平成24年 グラフィックインソールSOKO(ソコ)を上市  
パリ メゾンエオブジェに出展

平成26年 シンガポール出展

平成27年 ステーションナリーブランド コルチョコルチョコを上市  
NY NOW 出展

以後も、国内展示会等にて、会社の認知度をあげるべく提案を続けている。



講師は愛媛県川之江市出身。同社は昭和34年に、大手靴メーカーである月星化成(現ムーンスター)の子会社として設立された経緯をもつケミフェルト(ゴム複合素材)製品、コルクシート製品製造の会社である。

「地方の中小企業が打って出るには、オンリーワンでなければいけない」という理念から、一念発起し、製造商品のブランディングに取り組む。創業以来の技術ノウハウの新たな活用を図るため、独自手法で社内検討を重ね、新たな新機軸を打ち出した商品開発をおこなっている。また、FHA(一般社団法人 足と靴と健康協議会)の公認シューフィッターの資格も保有している。

### <講義概要:『小さな会社の生き残り戦略』>

地方の中小企業が生き残っていくための「オンリーワン戦略」。オンリーワンであるために、どのような検討を重ね、試行錯誤してきたか。自社の強みや弱み、脅威やチャンスをどのように分析してきたか。独自製品開発の苦労話や、新機軸を打ち出すまでの発想転換手法、意外な組み合わせ提案と、その売り込み秘話など、小さな会社がどのような生き残り戦略を打っていくかについて講義します。

## ●【第8回講義(令和元年 11 月 19 日)のご案内】

講師：株式会社セリックス  
代表取締役 泉保 壽雄(せんぼ ひさお)



|            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 略歴：昭和 41 年 | 高松工芸高校機械科 卒業                      |
| 同 年        | 某自動車会社 入社 研究開発部配属                 |
| 昭和 49 年    | 泉保設計事務所 創業                        |
| 昭和 57 年    | (有)泉保設計 創立                        |
| 平成 3 年     | (株)セリックスに C・I<br>三木事務所 竣工         |
| 平成 4 年     | SERIX 商標登録(第7、第9類)<br>本社を三木事務所に移転 |
| 平成 6 年     | 資本金 3,000 万円に増資                   |
| 平成 20 年    | 福利厚生施設 セリックスレセプトハウス 竣工            |
| 平成 28 年    | 自動シャンプーマシン開発 国内特許取得               |
| 平成 31 年    | 自動シャンプーマシン 海外特許取得(米国、EU、中国、香港)    |
| 令和 元年      | 本社工場 増設竣工                         |

某大手自動車メーカーからスピンアウトし、FA機器や自動機を生産するファブレス企業を独立創業。自動車メーカー在籍時は、電気自動車架走、走行実験などをおこない、昭和 42 年にはレーシングカーを設計し、翌年、富士スピードウェイにおけるグランプリレースの GP-I クラス優勝の実績を持っている。シティー通勤ーターの開発・設計や試作、プラント等の設計や製作までの実績を積み、昭和 49 年に泉保設計事務所を創設、現在に至る。

<講義概要：『未知の新分野の顧客課題を打開する為の思考力とは？ その技術の考え方と醸成』>

「連帯責任感」と「調和」を信条に、目まぐるしく変化する情勢変化に対応できる思考、あらゆる未知の顧客課題を打開するための思考技術とその醸成法についてなど、同社のこれまでの課題解決の取組みや経緯、企業内教育の実践、経営思想をからめて講義します。

## ●【第9回講義(令和元年11月26日)のご案内】

講師：株式会社サンテック

代表取締役社長 青木 大海(あおき ひろみ)



|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 略歴：昭和57年 | 岡山県総社市出身                |
| 平成15年    | 関西外国語大学 卒業              |
| 平成17年    | アメリカ大使館商務部 勤務           |
| 平成19年    | リーマン・ブラザーズ証券株式会社 勤務     |
| 同 年      | テンプル大学 卒業               |
| 平成20年    | 株式会社サンテック 入社            |
| 平成25年    | 同社 代表取締役社長 就任           |
| 平成30年    | MOOZ&COMPANY Myanmar 設立 |
| 令和元年     | SUNTECH CHINA 設立        |
| 令和2年     | SUNTECH Morocco 設立予定    |

外資系証券会社での経験・経歴をもつ講師は、外国企業と日本企業とのマッチング支援などにも多数携わっている。近年、高い技術力で業務拡大、急成長を続けるステンレス製タンク、圧力容器等の製造を行う株式会社サンテックの現代表であり、従業員第一、顧客第二主義「全ては家族のために」をモットーに掲げ、人材中心の新しい企業経営の形態を構築し、一方で過去の経歴・能力を活かした行動力・営業力で積極的な海外への各種機械製造販売を進めている。海外企業と日本企業の組織文化にも精通し、それぞれの良いところを活かした新しい企業経営の確立を進めている。

<講義概要：『地方のモノづくりからアジアの Monodzukuri 企業へ』>

海外企業と日本企業のマッチング支援や、積極的にアジア等への製造・販売事業を推し進めている同社の代表が、香川のモノづくり企業からアジアのモノづくり企業への海外展開経験からの今後のモノづくり企業のあり方、その射程、さらに、海外事業への新規参入やシェア獲得のための経験談、高い技術力をもつモノづくり企業として必要な要素、販売展開から技術開発、組織運営まで、地方のモノづくり企業からアジアの Monodzukuri 企業としての同社の目指す新たな展開軸について講義します。

## ●【第 10 回講義(令和元年 12 月3日)のご案内】

講師：ナベプロセス株式会社  
代表取締役社長 鍋坂 信也(なべさか しんや)



略歴：昭和 45 年 高松市に生まれる  
平成 3 年 同社入社  
平成 15 年 取締役常務 就任  
平成 19 年 同社取締役専務 東京支社長 就任  
平成 23 年 代表取締役社長 就任

同社は、グラビア印刷用製版を主要事業として、一日の生産本数 600 本、年間約 15 万本、業界シェアの 15%を担う国内トップクラスのグラビア製版会社。

これまで再現が難しかったスポットカラー(特色)の基準化を図るため、ISO17972-4 で定義された Cxf/X-4 ツールを活用し、スポットカラー2000 色強のインクの配合をすべて数値化して公開するなど、同業他社との差別化を図っている。主要事業の省力化設備の導入を進めながら、フレキソ、デジタル印刷、パッケージングサービスなどの準主要事業を充実させることで、あらゆるニーズに対応できるワンストップサービスの確立を目指している。

講師は、企業が取り組む省人化設備への取り組み、環境にやさしい水性インキ対応のフレキソ印刷及びフレキソ製版(樹脂凸版)を推進するなかで、さまざまな企業の方との交流と取り組みにより、これからの時代の流れに沿った企業変革や経営の方向性、目指す企業像を常に探り続けられています。

### <講義概要:『一緒に働きたくなる人物像』>

国内トップクラスのグラビア印刷用製版企業である同社の代表である講師が、「一緒に働きたくなる人物像」からズームアウトした組織経営の考え方、理念、人材育成やその教育についての考え方、業界展望や同社の経営に関する日々の実践や経験から得た“気づき”の機会とその“実践”循環について、経営トップとして日々感じ、考察したことについて講義します。

## ●【第 11 回講義(令和元年 12 月 10 日)のご案内】

講師：日生化学株式会社

代表取締役社長 田中 秀和(たなか ひでかず)



略歴：昭和 40 年 東京都稲城市出身  
平成 元年 成城大学 卒業  
同年 巴工業株式会社 入社  
平成 8年 日生化学株式会社 入社  
平成23年 同社 代表取締役社長 就任

織りネームの会社としてスタートした同社は今や、食品関連や産業用の機能性包装資材を取り扱う、特に「発泡ポリエチレンバック」については、国内最大手の企業である。そんな同社を牽引する講師は、「The eco-Solutions Company」を目指し、その牽引をすすめる日生化学株式会社(東かがわ市馬篠)の代表である。

ポリエチレンを「発泡」させる技術と、「機能性フィルム」への「改質」技術、そのような特殊技術に根差し発展してきた同社。さらに、「リサイクル」という技術開発をすすめ、三つの技術を融合させた「環境配慮型商品」の開発をおこない、世界初の回収ペットボトルによるフィルム化にも成功している。ほか、微細発泡技術を使った「発泡シーラントフィルム」を開発。熱や冷気を遮断し、クッション性も備えたフィルムは、大手食品会社でも採用されており、講師はそのような「エコ市場」創造のためのさまざまな試みに挑戦している。

講師は専門商社での勤務経験も長く、その経験や外部視点を取り入れた、業務や販売などについての社内変革を推し進め、日夜事業発展に尽力している。

<講義概要:『プラスチック業界を取り巻く現状と課題～The eco-Solutions Company の挑戦～』>

プラスチック業界を取り巻く現状と課題について、「The eco-Solutions Company」をスローガンにさまざまな、「エコ市場」創造に挑み続ける講師。「発泡」、「改質」、「リサイクル」という技術からの「環境配慮型商品」開発にかかわる秘話や経緯、組織変革のための、「多能工化」、「第三者視点」といったキーワードを通じて、課題解決型組織への取組み、今後の同社の展望を、経営的視点を絡めながら講義します。

## ●【第12回講義(令和元年12月17日)のご案内】

講師：株式会社ダイコープロダクト  
代表取締役社長 川北 康伸(かわきた やすのぶ)



略歴：昭和46年 9月24日生まれ  
平成6年 日本大学商学部経営学科卒業  
同 年 株式会社バツ 入社  
平成10年 株式会社バツ 退職  
平成11年 株式会社ダイコープロダクト入社  
平成23年 公益社団法人東かがわ青年会議所理事長(1年間)  
平成27年 日本手袋工業組合青年部会長(平成30年まで)  
平成29年 公益社団法人大川法人会青年部会長(在任中)

同社は、昭和38年創業のさぬき市大川町にある手袋、バッグの二刀流縫製工場。日本と中国にそれぞれ拠点を有し、国内・海外の両方にしっかりとした量産体制を築いているが、近年は国内工場に投資をし、手袋の町のものづくりを進化させることに注力している。

地元香川県のデザイナーらと組んで立ち上げたメンズグローブブランドや特殊な機能を盛り込んだバッグブランドを展開。講師は、新しい感性を取り入れつつ、従来から培われてきた縫製技術を活用した新機軸の打ち出しや、その技術の承継にも力を注ぐ。

<講義概要：『「想像」「創造」の二つの“ソウゾウ”力でモノづくりの未来を拓く』>

経営理念にもある「想像」と「創造」をテーマに、時代の背景、新しい感性、新しい技術、地域で培われた伝統と技術、地域からの発信による乗算で新機軸が生まれる、そのようなブランド化や販売戦略、業界にまつわる動向、中国・東南アジアなどの生産拠点から見た地域の現状と今後のモノづくりなどについて講義します。

## ●【第 13 回講義(令和元年 12 月 24 日)のご案内】

講師：一般社団法人希少糖普及協会  
代表理事会長 近藤 浩二(こんどう こうじ)



略歴：昭和 42 年 京都大学大学院理学研究科修士課程修了  
香川大学教育学部助手採用  
平成 9 年 香川大学長就任(平成 15 年任期満了退職)  
平成 18 年 合同会社希少糖生産技術研究所設立  
平成 22 年 株式会社レアスウィート設立 代表取締役就任  
(平成 30 年取締役退任)  
平成 24 年 一般社団法人希少糖普及協会設立 代表理事会長就任 現在に至る

香川大学発ベンチャー企業で、希少糖含有シロップ「レアシュガースイート」(家庭用ボトル)の販売を行っている(株)レアスウィートを設立し、長年代表取締役を務めた。現在は希少糖の普及啓発活動を行う(一社)希少糖普及協会の代表理事会長に専念している。

<講義概要:『産学官連携事業としての希少糖 ～起業と商業展開～』>

自然界に微量しかない希少糖。大量生産される果糖から希少糖 D-ブシコースを生産する酵素が発見され、希少糖の大量生産によって機能が発見されると、産学官連携事業として研究開発が開始された。その事業化は困難の連続であった。産学官連携事業としての希少糖の事業化について、起業と商業展開を中心に講義します。

## ●【第 14 回講義(令和2年1月 21 日)のご案内】

講師：サヌキ畜産フーズ株式会社  
代表取締役 増田 浩(ますだ ひろし)

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 略歴：昭和 47 年 | 三豊市高瀬町出身        |
| 平成 7年      | 松山大学経済学部 卒業     |
| 同年         | 日本食研株式会社 入社     |
| 平成 10 年    | サヌキ畜産フーズ株式会社 入社 |
| 平成 19 年    | 同社 専務取締役 就任     |
| 平成 22 年    | 同社 代表取締役 就任     |



サヌキ畜産フーズ株式会社は、和洋中冷凍惣菜、ハム・ベーコン類まで、食肉加工のスペシャリストとして、高品質な商品を創業以来作り続けている三豊市詫間にある食肉加工・冷凍食品製造事業の会社。一工場当たりの冷凍トンカツ生産量は全国で3本の指に入るクラスの規模であり、そのほとんど9割近くが相手ブランド名を冠したOEM製造として流通している。

講師は、「笑顔」を重要な経営理念に掲げ、～「笑顔」になれるシーンを作り続けたい～という想いのもとに、従業員の“いきがい”に訴える職場づくりに尽力している。

<講義概要：『日本一のとんかつ工場へのチャレンジ～日本一に相応しい経営の姿と考え方～』>

日本一の冷凍トンカツ生産量を有する「日本一のとんかつ工場」を目指し、社員一丸となった組織づくりを目指し、そのために「従業員が笑顔で働くことができ、生きがいを持って幸せになると共に、弊社に関わる全て皆様の笑顔と食生活の提供を通じて、広く社会に貢献する」という経営理念を掲げている。その実践のための、経営計画、経営方針の共有化、見える化、自律的経営参画促進など、その試行錯誤やさまざまな試み、その道のりなどの挑戦過程から、生産者とのつながり、貿易で学んだことなどについて講義します。

## ●【第 15 回講義(令和2年 1 月 28 日)のご案内】

講師： ウインセス株式会社  
代表取締役 橋本 勝之(はしもと かつゆき)

略歴： 昭和 47 年 東かがわ市出身  
平成 2 年 三本松高校 卒業  
平成 6 年 福山大学 卒業  
平成 11 年 ウインセス株式会社 入社  
平成 22 年 同社 代表取締役 就任



ウインセス株式会社は、作業用手袋に特化した縫製及び溶着技術を有した、現在、高松市香南町に所在する企業。工業用資材を使用したファッション小物ブランドの構築なども手掛けている。

講師は、大学卒業後、イギリス留学と商社での勤務を経て、同社へ入社。その後は時代の変遷にあわせた経営の舵取りをおこない、これまでにない業種への参入や、海外でのデザイン賞を受賞した BtoC(消費者向け)商品の開発などにも挑戦している。

### ●<講義概要:『失敗談お伝えします。決算書に載らないリスク』>

新規事業のみならず本業でも、失敗ルートは無数に潜んでいます。失敗例を知ることで転ばぬ先の杖になれるよう、異業種参入、BtoCへの挑戦、海外展開など、これまでの試行錯誤や紆余曲折を通じた経験から、決算書には現れない隠れたリスクについて講義をします。

～(公財)かがわ産業支援財団、香川大学大学院地域マネジメント研究科共同開設～

## 地域の中小企業と経済活性化

県内企業の総合的支援団体である公益財団法人かがわ産業支援財団は、地域の中小企業と地域活性化に取り組み、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目を公開講座として開設します。15回の講義では、世界に誇れる技術や様々なマネジメント事例が登場します。「地域に根付いた企業活動とは何か」「企業活動を通じた地域の活性化とは何か」などの答えを導くヒントが多く得られますので、是非、日頃聞くことの出来ない貴重な講師による現場の生きた声に触れてください。

公益財団法人かがわ産業支援財団  
理事長 大津 佳裕

|      | 日程             | 講師                             | 講義概要   |
|------|----------------|--------------------------------|--|
| 第1回  | 2019/10/1(火)   | 公益財団法人かがわ産業支援財団<br>理事長 大津 佳裕   | 地域活性化の政策と実践  |
| 第2回  | 2019/10/8(火)   | 株式会社四国通路<br>代表取締役 佐藤 崇裕        | これからの四国通路と新しい価値・ビジネスの可能性                               |
| 第3回  | 2019/10/15(火)  | 株式会社ゴーフールド<br>代表取締役会長 森田 桂治    | ブラックベンチャー企業が女性活躍推進企業として表彰されるまでの道のり                     |
| 第4回  | 2019/10/24(木)* | 株式会社tao.<br>代表取締役 久保 月         | はじまりは「おもしろいやん!」の好奇心から。—グラフィックデザイナーの雑誌編集 IKUNASの活動を通して— |
| 第5回  | 2019/10/29(火)  | さんわ農夢株式会社<br>取締役 大橋 正幸         | 農業への挑戦   |
| 第6回  | 2019/11/5(火)   | 仁尾興産株式会社<br>取締役 高橋 寛栄          | オリーブ車海老®と六次産業化への取組みについて                                |
| 第7回  | 2019/11/12(火)  | 日本ケミフェルト株式会社<br>代表取締役 吉田 寿     | 小さな会社の生き残り戦略   |
| 第8回  | 2019/11/19(火)  | 株式会社セリックス<br>代表取締役 泉保 壽雄       | 未知の新分野の顧客課題を打開する為の思考力とは?<br>その技術の考え方と醸成                |
| 第9回  | 2019/11/26(火)  | 株式会社サンテック<br>代表取締役社長 青木 大海     | 地方のモノづくりからアジアのMonodzukuri企業へ                           |
| 第10回 | 2019/12/3(火)   | ナベプロセス株式会社<br>代表取締役社長 鍋坂 信也    | 一緒に働きたくなる人物像   |
| 第11回 | 2019/12/10(火)  | 日生化学株式会社<br>代表取締役社長 田中 秀和      | プラスチック業界を取り巻く現状と課題<br>～The eco-Solutions Companyの挑戦～   |
| 第12回 | 2019/12/17(火)  | 株式会社ダイコープロダクト<br>代表取締役社長 川北 康伸 | 「想像」「創造」の二つの“ソウゾウ”力でモノづくりの未来を拓く                        |
| 第13回 | 2019/12/24(火)  | 一般社団法人希少糖普及協会<br>代表理事会長 近藤 浩二  | 産学官連携事業としての希少糖<br>～起業と商業展開～                            |
| 第14回 | 2020/1/21(火)   | サヌキ畜産フーズ株式会社<br>代表取締役 増田 浩     | 日本一のとんかつ工場へのチャレンジ<br>～日本一に相応しい経営の姿と考え方～                |
| 第15回 | 2020/1/28(火)   | ウインセス株式会社<br>代表取締役 橋本 勝之       | 失敗談お伝えします。決算書に載らないリスク                                  |

講義時間は火曜18:20～19:50までの90分間です。※変則曜日の場合あり。

場所:香川大学 幸町南キャンパス又信記念館1階・特別講義室(経済学部正門より左手)〒760-8523香川県高松市幸町2-1

お問い合わせ

香川大学大学院地域マネジメント研究科 〒760-8523香川県高松市幸町2-1

T E L : 087-832-1900 FAX : 087-832-1988 (土日祝をのぞく平日9:00～18:00)

E-mail : [gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp](mailto:gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp)

受講料無料  
お申込みは裏面へ

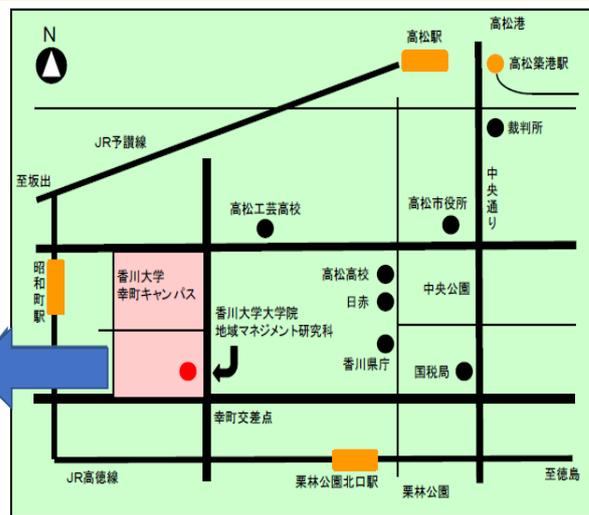
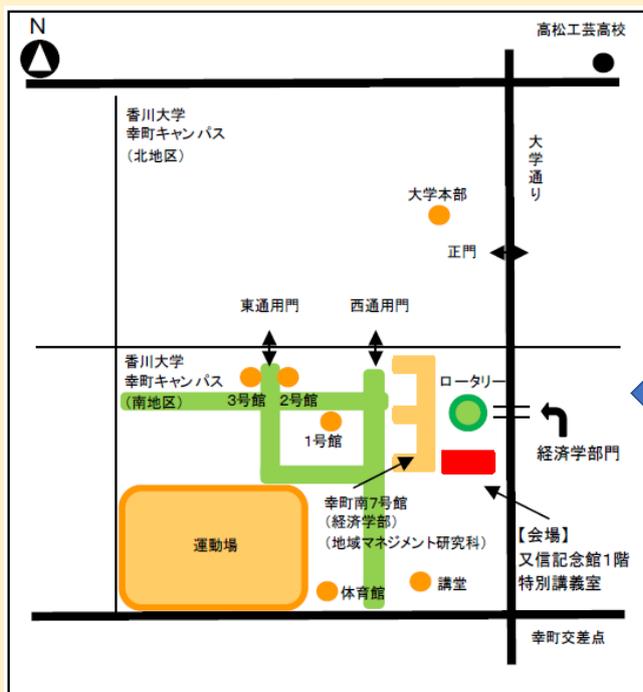
## 2019年度「地域の中小企業と経済活性化」受講申込書

|               |                               |               |               |
|---------------|-------------------------------|---------------|---------------|
| ふりがな          |                               |               |               |
| 氏名            |                               |               |               |
| 連絡先           | TEL・FAX : (        )        — |               |               |
|               | 携帯番号 : (        )        —    |               |               |
|               | E-mail :                      |               |               |
| 勤務先・所属        |                               |               |               |
| 希望回に○をつけてください | 第1回 10/ 1(火)                  | 第6回 11/ 5(火)  | 第11回 12/10(火) |
|               | 第2回 10/ 8(火)                  | 第7回 11/12(火)  | 第12回 12/17(火) |
|               | 第3回 10/15(火)                  | 第8回 11/19(火)  | 第13回 12/24(火) |
|               | 第4回 10/24(木)                  | 第9回 11/26(火)  | 第14回 1/21(火)  |
|               | 第5回 10/29(火)                  | 第10回 12/ 3(火) | 第15回 1/28(火)  |

※ご記入いただきました情報に関しては、当科目への登録及び連絡等の目的以外には使用しません。

- 申込受付：随時
- 受講料：無料
- 申込方法：上記を記入してFAXもしくはメール、ホームページからお申込み下さい。
  - ・ 申込メール送り先：gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp
  - ・ ホームページ：『香川大学地域マネジメント研究科』で検索

【会場】香川大学 幸町南キャンパス 又信記念館1階・特別講義室



※お車でのご来校はご遠慮ください。近隣の有料駐車場をご利用ください。